



つむぐ

No. 31

令和4年 6月14日発行 袋井市幼児教育センター

繰り返しの遊びの中で物の仕組みに気付きます

袋井の幼児教育で
育成する力



水を多く含んだ泥水を型に入れてみる

子どもたちは、いろいろなことに気づき学んでいます。

例えば、砂は、水を吸収しやすく、水を含むと固まりやすいが、乾くとサラサラになって形が崩れるのに対し、土は、水の吸収がゆっくりで、乾くと固まるなどの違いに気付きます。子どもはそれを遊びに生かして目的に向かって進めていきます。

生活習慣	自外	(1)自立心
	自内	(2)道徳性 規範意識の芽生え
	自外	(3)健康な心と体
	自内	(4)社会生活との関わり
学びに向かう力	自外	(5)自然との関わり・生命の尊重
	自内	(6)言葉による伝え合い
	自内	(7)協同性
基礎となる現力の	自外	(8)思考力の芽生え
	自内	(9)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
	自外	(10)豊かな感性と表現
	自内	



土を足すと 泥水はどうなるかな



繰り返し触れることで堅さの違いに気づき始めます

☆小学校生活では、
課題に対し、大まかな共通点や相違点に気づき比較したり、同じもの同士でまとめて分類したりして、課題を解決する力になります。

